

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市新田児童館
2 指定管理者	特定非営利活動法人せんだい杜の子ども劇場
3 指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日
4 施設の利用状況	《利用者数》 ・令和6年度 52,278人(前年度比 109.2%) ・令和5年度 47,877人 ・令和4年度 43,958人
	《事業》 ・児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業
5 収支の状況	《費用》 ・ 指定管理者に支払った費用 83,148千円(78,069千円) ・ その他市が負担した費用 0円(0千円) 《収入》 ・ 使用料収入 0円(0千円) ・ その他収入 0円(0千円)
	()は前年度決算額
6 利用者の声	《実施状況》 ・利用者アンケート、児童館地域連絡会、児童クラブ保護者懇談会を実施。

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。 なお、一部職員において、施設の設置目的である児童健全育成への理解が不十分であった。	30/33
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。	31/31
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	24/24
IV サービスの質の向上	リーフレットや児童館だよりの発行、ホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	児童クラブにおいては、子ども達が安心して過ごせる生活の場を整え、学校を中心に各関係機関と連携して育成支援に取り組んでいる。また、乳幼児親子向けの行事開催や交流の場の提供により子育て家庭を支援すると共に、小中高生に対して、発達段階に応じた遊びの指導や活動支援を行っている。地域との交流事業においては、日頃の情報交換や様々な工夫を凝らした事業で地域連携の保持に努めている。 なお、育成支援において、子どもへの配慮が不十分な対応があった。	17/18

三 評価総括

《指定管理者（特定非営利活動法人せんだい杜の子ども劇場）による自己評価》
①コロナ禍以後、子どもの参画事業が本格的に再開した。児童館まつり、クリスマス、子どもまつりで子ども自らが企画計画から実行までをやり遂げた。コロナ前の積み上げを知る子どもは無く改めてのスタートになったが、スタッフの子ども達の達成感と参加した子ども達の楽しそうな姿は確実に来年度に繋がった。②多くの団体との連携事業が進んだ。新田小学校PTAのspot新田とのかけこみ110番を巡るハロウィンパレード、児童クラブ保護者会との新米食べ比べイベント、榴岡児童館とのドッジボール大会、地区社協との食育イベント等はこれまでの小学校、連合町内会、地区民児協、東部市民センター、宮城野区家庭健康課、放課後等デイサービスなどとの関係に加えて連携強化に繋がった。③安全面において、坪沼の自然体験に対する職員の安全管理意識が上った事と仙台東警察署、東仙台交番、宮城野消防署との連携が深まった事があげられる。子ども自身が自分の身を守る行動を取り、その上で楽しむ充実感が確実に上がった。消防署からの火災訓練の見守りと指導、警察署からの立ち寄り子ども達や職員にとって大変心強く安心感に繋がった。④児童クラブ事業においては3サテライトは前年度と同様に1単位のままだったが、本館が3単位となり1単位増えたことは大きな変化であり苦難が多かった。子どもの人数が多い状況では落ち着いた環境が作りづらく、子ども同士の関係性が煩雑になってしまう状況が生じた。それを回避すべく安全を優先し職員相互の情報共有とスキルアップを重視し、日々のミーティングにおいて全体で考え工夫し対応した。⑤新田小学校の理解と協力が格段に大きくなり、一つひとつの子どもの問題と一緒に対応出来た。学校との協働意識を持つ、そして職員自らの研鑽を重ねるという児童館運営に最も必要な事を実行できた一年となったと感じている。

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
児童健全育成事業においては、「児童館まつり」「子どもまつり」の実施に向けた子どもスタッフの募集に際し、申込用紙を学校サテライトで配布するなど周知に努め参加しやすい工夫を行った。企画から当日の運営等子ども達の意見が実現できる支援を行い、自主性や社会性を育みながら子ども達が達成感を得られる機会を提供した。土曜日に来館する乳幼児親子と小学生と一緒に遊び、異年齢交流が日常的に図られている。中高生の意見を反映させて用具や場を整え利用し易い環境作りを行い、利用者が増加している。 子育て家庭支援事業においては、子育て支援クラブとの共催で月2回季節の遊びや行事、工作等多彩な内容で行事を開催している。新たに「フットマッサージ」を実施したり、「わらべ歌産後ダンス」を自由参加で月1回実施するなど、保護者の癒しやリフレッシュの時間を提供し好評を得ている。また、令和6年度から乳幼児クラブを申込制に変更し発達や年齢に合わせたプログラムを提供するなど、乳幼児親子の視点で利用し易い環境作りに努めており、リピーターの増加に繋がっている。 地域交流推進事業においては、新田小学校や父母教師会、連合町内会の協力のもと、「地域情報公開セミナー」を継続して開催している。地域の関係施設のおまつりに児童の作品を展示したり、子どもスタッフと遊びのコーナーを担当するなど積極的に地域と関わり、取り組みを通して児童館事業の認知度向上や地域との連携強化に努めている。地域懇談会に児童クラブ保護者代表が参加しており、地域の方と児童クラブ保護者との顔の見える関係作りにも努めている。 放課後児童健全育成事業においては、児童が全体で集まる集会をやめ、必要に応じた学年毎の集会に変更したことで、遊びの継続性が確保され遊びの充実と共に夕方の過ごし方を子ども達自身が主体的に決める良い機会にもなった。また、緊急時の対応、体制の確認を記載したオリジナル小冊子「子どもの安全を守るために」を作成している。引き渡しカードも兼ねていることから各家庭に2部ずつ配布するなど保護者と緊急時の対応の共有に努めており、児童の安全確保について配慮されている。	A

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取り組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：こども若者局こども若者支援部児童クラブ事業推進課